

選考方法

- ① **エントリーシート** 志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。
- ② **実習体験** 教員の指導にしたがって、グループを編成して作品をつくります。実習体験後にレポートを作成します。

実習体験の例

2日間の実習体験は、グループを編成して取り組みます。グループごとに、モーターなどの動力源や、プラスチック・木材・紙などの素材、動作を制御するキットを与えます。これらを自由に用いて、動きのある造形物をデザインし、制作までを行います。制御用キットは、コンピュータ上で積み木のように組み立てる専用ソフトを用いますので、初心者でも簡単にプログラムをつくることができます。



- グループに分かれて作業します
- いろいろな素材を組み合わせて
- 分担して制作に取り組み
- 参加者全員の前で発表します

- ③ **面談** 双方向の個人面談により、お互いの理解を深めると同時に、意欲や可能性を見出すことを目的とします。自分をアピールできる効果的な自己PR資料(作品に限らず、活動報告書など、どのような形式のものでもかまいません)があれば持参してください。

評価方法

上記選考項目を総合的に評価します。※実習体験で制作した作品は、評価の対象とはなりません。

選考方法

- ① **エントリーシート** 志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。
- ② **課題(当日持参)** 以下のようなタイプの問題が10問程度出題されます。その中からひとつを選び、所定の用紙にまとめる課題です。A3サイズ程度の用紙1枚に手書きの文字や図などで表現します。具体的な課題集はエントリー受付後、解答用紙とともに各人に郵送します。

- 課題例**
- 身の回りの家庭電化製品や用具を取り上げ、観察・分析し自分の意見を述べるレポート
 - ある条件の下で、近未来の生活行為を予測し、新たな道具を提案するアイデア展開
 - これまでの自分の体験や経験からデザインの可能性について考えを述べる小論文
 - その他

- ③ **面談** 双方向の個人面談により、お互いの理解を深めると同時に、意欲や可能性を見出すことを目的とします。自分をアピールできる効果的な自己PR資料(作品に限らず、活動報告書など、どのような形式のものでもかまいません)があれば持参してください。

評価方法

上記選考項目を総合的に評価します。

選考方法

- ① **エントリーシート** 志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。
- ② **持参作品(当日持参)** 持参作品は、試験当日に試験会場にもってくる「作品(または作品集)」です。作品は、受験生本人が制作・作成したものであれば、平面、立体、写真などの造形作品に限らず、レポートや課外活動の成果など、形式や形態は問いません。作品は、1人で手にもてる範囲であれば数に限りはありません。映像作品などの場合は、再生装置(パソコンなど)も併せて持参してください(問題がある場合はご相談ください)。
- ③ **面談** 双方向の個人面談により、お互いの理解を深めると同時に、意欲や可能性を見出すことを目的とします。

評価方法

上記選考項目を総合的に評価します。